

# 背ラベルの番号の意味

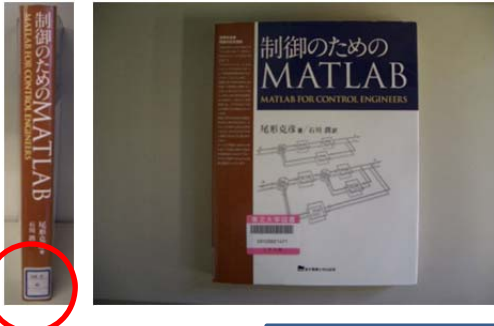
- ★工学分館の図書は、背に貼られているラベル(背ラベル)の番号順に並べられています。
- ★その番号は「請求記号」と呼ばれ一定の法則を持ちます。
- ★この規則を理解することで、必要とする資料を本棚からある程度感覚的に探すことができます。
- ★ここでは2階図書フロアの請求記号の番号体系を紹介します。
- ※1階の学科旧蔵図書は別体系のものがあるので、本棚脇の案内をご覧ください。

## ■ 図書に貼ってある背ラベル

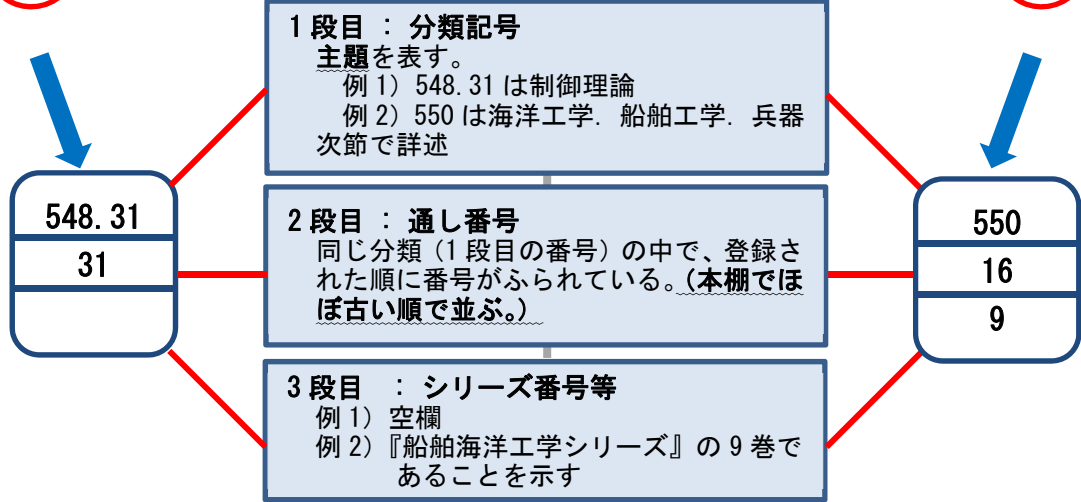
- ・図書の背に貼られているラベル(背ラベル)は「請求記号」と呼ばれ一定の法則を持ちます。
- ・工学分館の図書の背ラベルには大まかに次の特徴があります。
  - ※同じ図書であれば、同じ番号。
  - ※同じ主題がほぼ同一の場所にある。
  - ※同じ主題の中では、ほぼ古い順に並ぶ。

実際の図書を例に背ラベルの意味を見てみます。

### 例1) 『制御のための MATLAB』



### 例2) 『造船工作法』 (『船舶海洋工学シリーズ』の9巻)



### 例1) の配架場所

周囲にはほぼ同じ主題が並ぶ



### 例2) の配架場所

同じシリーズが並ぶ



## ■ 分類記号（背ラベルの1段目）

- ・背ラベルの1段目は分類記号と呼ばれ、「3ケタ+小数点以下」の番号が主題を表します。  
例) 413.6 微分方程式  
423.8 流体力学、液体力学
- ・工学分館では日本十進分類法という分類体系を用いています。（本館とは異なる分類体系です）
- ・日本十進分類法では000番台から900番台まで、それぞれの番号が表す主題が詳細に定められています。
- ・工学分館で多く所蔵しているのは000番台、400番台（自然科学）、500番台（技術工学）です。

## ※日本十進分類法の概略図

（工学分館で多く所蔵している箇所を抜粋）

000	総記		
007.63	コンピュータ システム、ソフトウェア		
007.64	コンピュータ プログラミング		
010	図書館、図書館学		
020	図書、書誌学		
:	:		
:	:		
080	叢書、全集、選集		
090	貴重書、郷土資料、その他の特別コレクション		
400	自然科学	500	技術、工学
410	数学	510	建設工学、土木工学
420	物理学	520	建築学
430	化学	530	機械工学、原子力工学
440	天文学、宇宙科学	540	電気工学、電子工学
450	地球科学、地学	550	海洋工学、船舶工学、兵器
460	生物科学、一般生物学	560	金属工学、鉱山工学
470	植物学	570	化学工業
480	動物学	580	製造工業
490	医学、薬学	590	家政学、生活科学

007番台に情報科学、ソフトウェア、プログラミングなどが入る

- ・以上のように、背ラベル・分類記号の知識があれば、本棚から必要とする資料をある程度感覚的に探すことができます。

## ■背ラベル（分類記号）の問題点

- ・背ラベル（分類記号）から図書を探す際の注意点があります。

### 1. 同じ主題であっても2カ所以上に分かれる場合があります。

例1) 力学	例2) 音響学
423 力学	424 振動学、音響学
501.3 工業力学	501.24 振動工学、音響工学、超音波工学
	761.12 音楽的音響学

### 2. 主題に関係なく、同一シリーズを一カ所にまとめている場合があります。

例1) 講談社の『ブルーボックス』シリーズ 下記は『ブルーボックス』シリーズの1部のタイトルです。扱う主題は全く異なりますが、工学分館では全て“080/20/〇〇”の背ラベルです。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・『新・天文学事典』</li> <li>・『知性を鍛える大学の教養数学』</li> <li>・『アンテナの仕組み』</li> </ul>	<p>全て同じ分類</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>080</p> <hr/> <p>20</p> <hr/> <p>〇〇</p> </div>

※必ず OPAC（蔵書検索）での検索も用いて、漏れがない検索をしましょう！